

株主通信

第69期 中間報告書

[平成31年4月1日～令和元年9月30日]



今日を支え 明日を創る

株式会社 四電五

YONDENKO

Investor Relations 2019

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素格別のご支援を賜り、有難く厚くお礼申し上げます。

さて、当年度第2四半期累計期間(中間期)の事業の概況についてご報告申し上げます。

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、米中貿易摩擦の懸念など海外経済の影響などから輸出や生産の一部に弱い動きがみられるものの、設備投資が高水準を維持するほか、良好な雇用情勢も継続するなど緩やかな回復基調が続きました。また、四国地域においても、ほぼ全国と同様の状況で推移しました。

当建設業界におきましては、公共投資や民間投資など全体として高水準を維持する一方、人手不足等による工事原価の上昇など厳しい状況も続きました。

こうした中、当社グループの当第2四半期累計期間の連結業績は、受注高が前年同期に比べ増加する一方、売上高はほぼ前年並みとなりました。また、利益面では工事利益率の改善や連結子会社の好業績などにより増益となり、連結営業・経常利益は過去最高となりました。

当社の中間配当金につきましては、令和元年10月31日開催の取締役会において、1株につき40円(支払開始日11月29日)と決定させていただきました。なお、期末配当金は1株につき40円を予定しております。

今後の見通しにつきましては、国内景気は緩やかな回復傾向を辿っているものの、海外経済の先行き不透明感に加え、本年10月から実施された消費増税の影響も懸念されることなどから、今後の経済情勢は予断を許さない状況で推移するものと考えております。建設業界におきましては、東京五輪や大阪万博など大規模イベントを控え、大都市圏を中心に建設需要は底堅い一方、人手不足や建設コストの上昇が懸念されることに加え、当社グループにおいては、電力関連工事や地方の建設投資の停滞が懸念されるなど、引き続き厳しい経営環境で推移するものとみております。

こうした状況の下、当社グループは、「中期経営指針2020」で掲げた、人財づくりと能力の発揮、経営体質の強化、M&Aなどを含む新たな挑戦と創造を三本柱とする重点施策に継続的に取り組むことにより、持続的成長の実現と企業価値の向上に努めてまいります。

株主のみなさまにおかれましても、これまでどおり、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



取締役社長

宮内 義憲

2019年度 中間期 財務ハイライト

第2四半期連結貸借対照表 (単位 百万円)

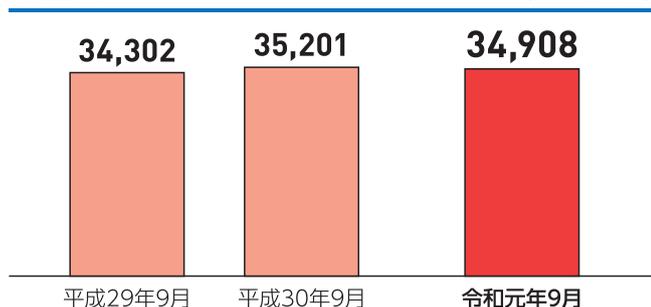
科目	前連結会計年度 平成31年3月31日現在	当第2四半期 令和元年9月30日現在
(資産の部)		
流動資産	44,297	36,812
固定資産	47,145	46,395
有形固定資産	29,004	28,619
無形固定資産	3,172	3,189
投資その他の資産	14,968	14,586
資産合計	91,442	83,208
(負債の部)		
流動負債	29,651	21,857
固定負債	15,315	14,810
負債合計	44,967	36,668
(純資産の部)		
株主資本	46,334	46,613
資本金	3,451	3,451
資本剰余金	4,221	4,221
利益剰余金	39,322	39,603
自己株式	△661	△662
その他の包括利益累計額	141	△73
その他有価証券評価差額金	1,149	773
退職給付に係る調整累計額	△1,008	△847
純資産合計	46,475	46,540
負債純資産合計	91,442	83,208

第2四半期連結損益計算書 (単位 百万円)

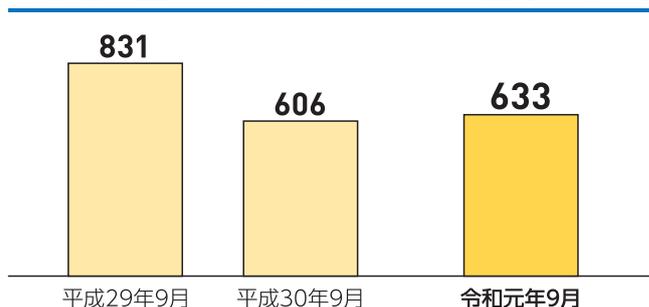
科目	前第2四半期 平成30年4月1日から 平成30年9月30日まで	当第2四半期 平成31年4月1日から 令和元年9月30日まで
売上高	35,201	34,908
完成工事高	32,483	32,118
その他の事業売上高	2,717	2,789
売上原価	30,847	29,533
完成工事原価	29,089	27,624
その他の事業売上原価	1,758	1,909
売上総利益	4,353	5,374
完成工事総利益	3,394	4,494
その他の事業総利益	959	880
販売費及び一般管理費	3,649	4,157
営業利益	704	1,217
営業外収益	281	299
営業外費用	42	44
経常利益	943	1,472
特別利益	-	7
特別損失	9	399
税金等調整前四半期純利益	933	1,080
法人税等	327	446
四半期純利益	606	633
親会社株主に帰属する四半期純利益	606	633

当社グループの業績および財産状況の推移

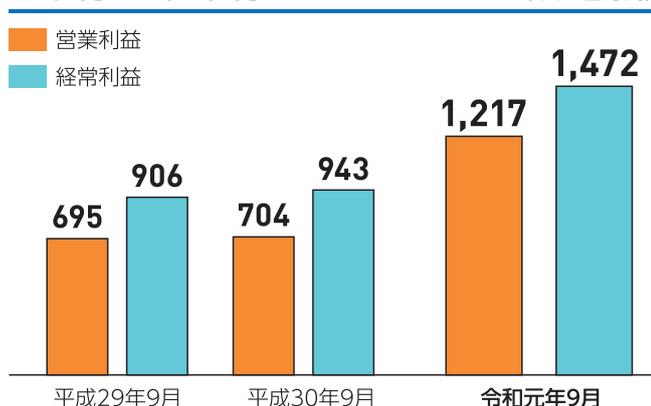
売上高 (単位 百万円)



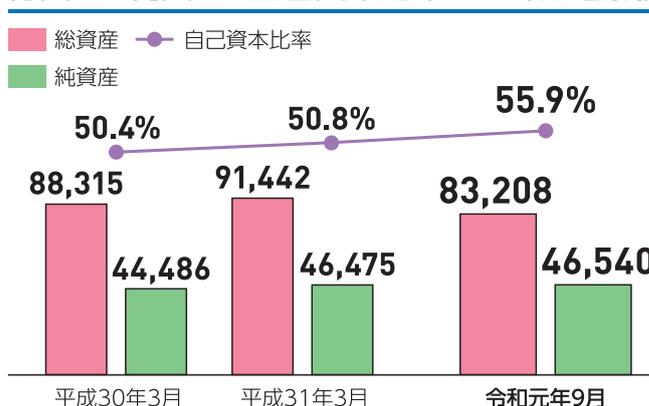
親会社株主に帰属する四半期純利益 (単位 百万円)



営業利益・経常利益 (単位 百万円)



総資産・純資産・自己資本比率 (単位 百万円)





記者発表の様子 左より:宮内社長、中野会長(関西設備)

株式会社関西設備(高知県)を子会社化 ～四国内のM&A第1号案件が成立～

“中期経営指針2020”に基づく収益基盤の強化を目的に、M&Aの第4号(四国内の第1号)案件として、高知県有数の管工事会社である(株)関西設備を8月23日付で子会社化しました。

昨年実施した首都圏・関西圏の設備工事会社3社の子会社化は、「エリア・事業の拡大」の一環でしたが、本件は、四国内における施工力の強化に主眼を置いたものです。

同社との協力関係を深め、四電工グループとしての収益力を高めてまいります。



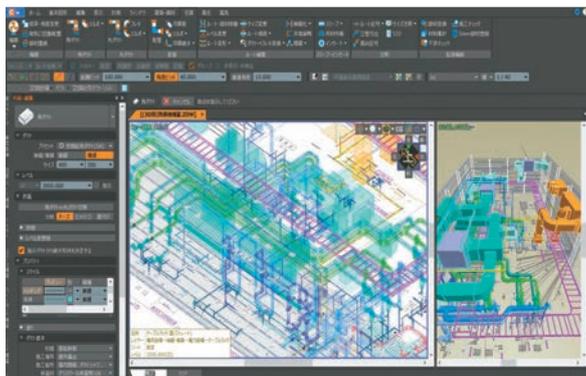
関東地方に向かう復旧応援隊

台風に伴う電力復旧のための応援派遣 ～千葉県内で復旧・支援活動に尽力～

本年9月・10月に関東地方を襲った台風15号・19号により甚大な被害を受けた電力設備の復旧のため、四国電力(株)や協力会社の方々とともに、復旧・支援活動に従事しました。

停電が続いた千葉県内に向けて、四国4県より最大で車両約100台、作業員ら約170名(協力会社を含む)を派遣し、重要施設への応急送電や配電線の復旧工事などを行いました。

今後とも、ライフラインを守るという使命を果たすべく、全力で取り組んでまいります。



フル3次元建築設備CAD
「CADEWA Smart」画面 (イメージ)

「CADEWA Smart」リリース

当社の「CADEWA」新シリーズとして、業界初の施工チェック機能を搭載した新商品であるフル3次元建築設備CAD「CADEWA Smart」をリリースしました。

従来の当社製品と比べ、

- ①誰にでもすぐに操作できる「わかりやすさ」
 - ②作業時間短縮に直結する「はやさ」
 - ③図面の作図ミスやモレを防止する「かしこさ」
- の3点が強化されています。



テレビCM「私たちの舞台」篇

テレビCM「私たちの舞台」篇を制作 ～四国4県にてオンエア～

当社の事業内容を多くの方々に知っていただくため、テレビCMを制作しました。今回のCMは、当社の若手従業員がイキイキと働く姿を透明感あふれるオリジナルソングにのせて、テンポよく表現した内容となっています。

四国4県のテレビ局にて放送するとともに、当社ホームページにも掲載しておりますので、是非ともご覧ください。

<http://www.yondenko.co.jp>

四電工CM集 click!

会社概要／株式情報

会社概要 (令和元年9月30日現在)

商号 株式会社 四電工
設立年月日 昭和38年5月1日
資本金 34億5,125万円
事業所数 40カ所
従業員数 2,103名

取締役社長	宮内 義憲	憲二
専務取締役	末廣川 俊	憲二
専務取締役	古川 唯一	司
常務取締役	小嶋 唯一	司
常務取締役	馬場 一	壽雄
常務取締役	松岡 一	雅
常務取締役	重松 橋	男亮
取締役	高井 久	司
取締役	白森 糸	樹子
取締役	真鍋 野	弘
常任監査役(常勤)	玉野 明	彦
監査役(常勤)	白川 原	修
監査役	大岡 林	正
監査役		文

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 6月
基準日 定時株主総会の議決権 3月31日
期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
単元株式数 100株
公告方法 電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。
(<http://www.yondenko.co.jp>)
上場取引所 東京証券取引所
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
各種お問い合わせ先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
郵便物送付先 大阪証券代行部
(<https://www.tr.mufg.jp/daikou/>)
〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
電話 0120-094-777(通話料無料)
※受付時間 9:00~17:00
(土、日、祝日、12月31日~1月3日を除く)

IR情報メール配信のご案内

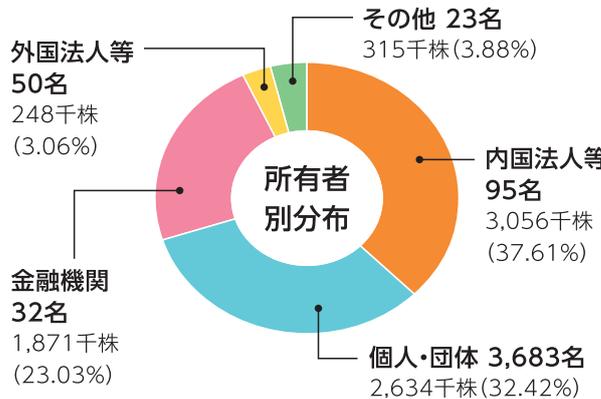
最新のニュースリリースやホームページの更新情報などお届けいたします。
当社ホームページからご登録いただけますので、ぜひご利用ください。



IR情報 ▶ IR情報メール配信

株式の情報 (令和元年9月30日現在)

発行可能株式数 20,000,000株
発行済株式の総数 8,127,735株
株主数 3,883名
所有者別分布

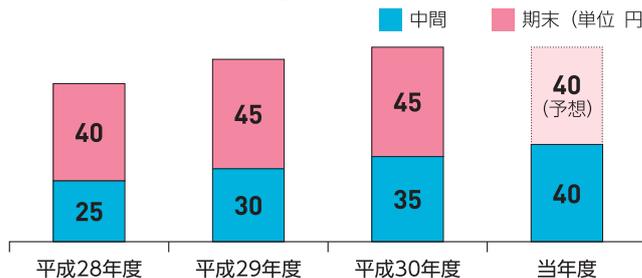


大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
四国電力株式会社	2,499	31.87
四電工従業員持株会	495	6.32
株式会社中国銀行	234	2.99
株式会社伊予銀行	222	2.83
株式会社百十四銀行	218	2.78
株式会社愛媛銀行	191	2.43
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	149	1.90
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	143	1.82
株式会社光通信	101	1.29
日本生命保険相互会社	88	1.12

(注)1. 当社は、自己株式286,175株を保有しておりますが、上記の表から除いております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

1株当たりの配当金額



(注)当社は、平成29年10月1日付で、株式併合(5株を1株に併合)を実施しております。平成29年度中間以前の配当金額は、併合後に換算しております。